

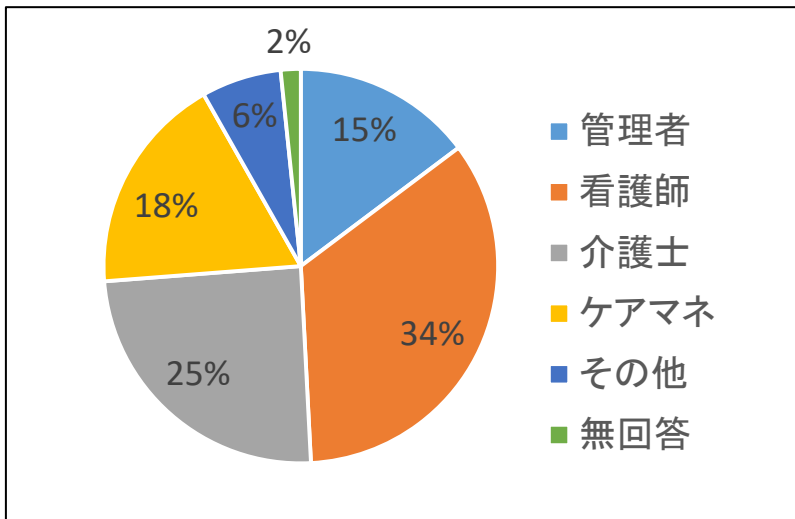
医療サポート研修会「介護施設・在宅における感染対策の考え方」アンケート結果

- 日時:平成30年5月15日(火)18:30～20:00
- 場所:日本海酒田リハビリテーション病院 3階講義室
- 参加者63名 アンケート回答者61名 回収率97%

1. 参加者職種

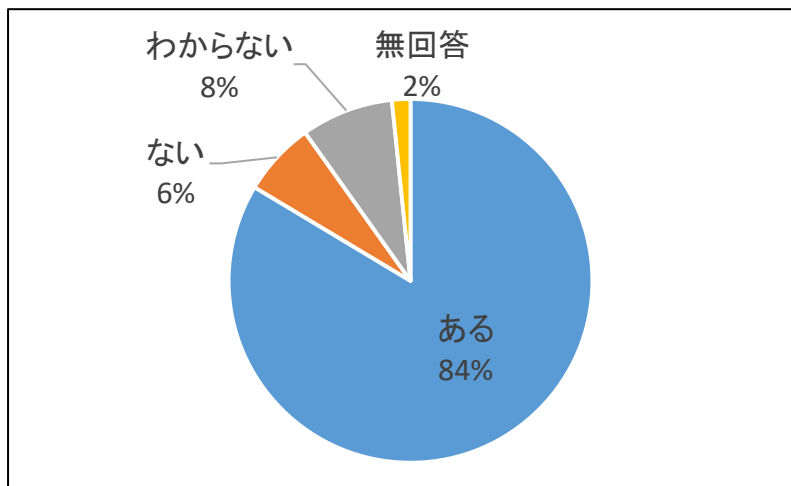
管理者	9
看護師	21
介護士	15
ケアマネ	11
その他	4
無回答	1
合計	61

その他:生活相談員(2)、
介護補助員、保健師



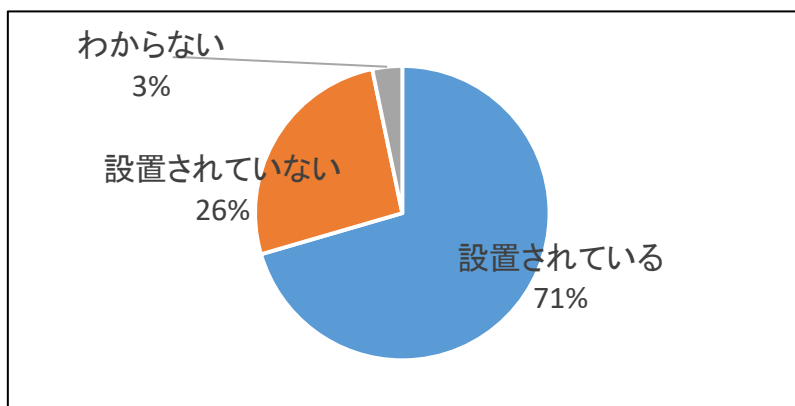
2. 感染対策のための指針・マニュアルの有無

ある	51
ない	4
わからない	5
無回答	1
合計	61



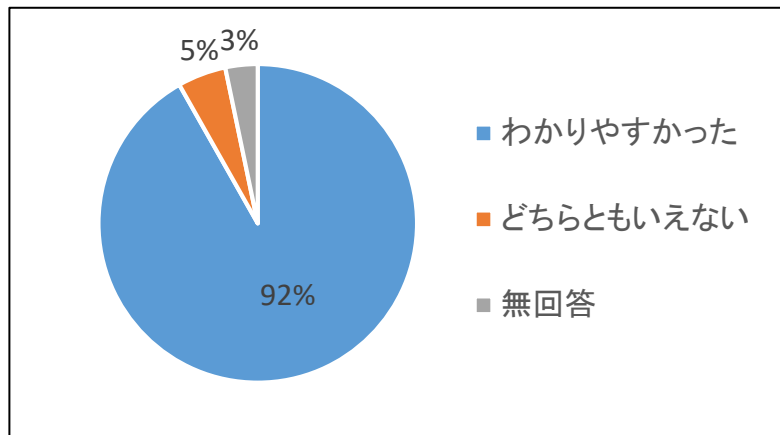
3. 感染対策委員会設置の有無

設置されている	43
設置されていない	16
わからない	2
合計	61



4. 研修会の内容について

わかりやすかった	56
わかりにくい	0
どちらともいえない	3
無回答	2
合計	61



わかりやすかったと回答の理由

看護師

・再度確認し、これで良いのだと確認する事が出来ました。

介護士

・具体的な対応が分かった。

ケアマネジャー

・施設・在宅での対策も聞けてよかった。特に在宅では簡易的なことでないと家族対応できないので。

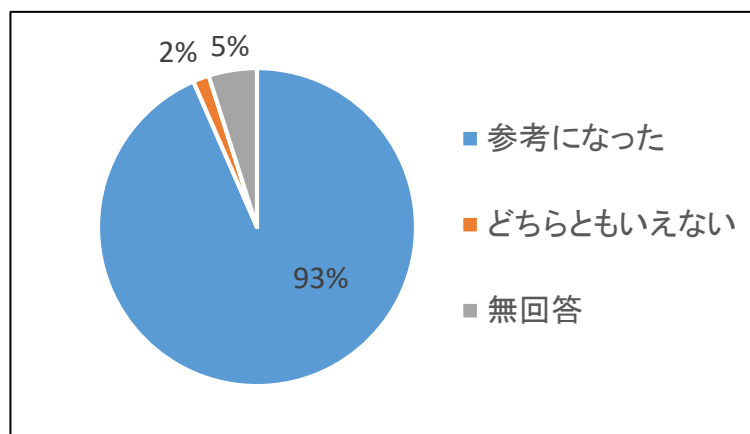
どちらともいえないと回答の理由

管理者

・医療の知識に乏しい事もあり、わからない用語があった。

5. 研修会に参加してみて

参考になった	57
あまり参考にならなかった	0
どちらともいえない	1
無回答	3
合計	61



参考になった理由や感想

管理者

- ・何度も繰り返し学び、感染予防の手順を身につけておく必要があると思いました。
- ・標準予防策について理解ができた。
- ・ひとつひとつの疾病に対する在宅での家族指導(家庭での対応)について詳しく聞きたかったです。特にノロウイルスなど。
- ・頂いた情報を自施設に持ち帰り、不備はないか、対策はできているか確認したいと思う。

看護師

- ・今一度、再度確認することができた。院内で感染対策の見直しをしようと思った。
- ・参考資料などあり、わかりやすかったです。おつかれ様でした。
- ・日常の感染対策を再度職員で話し合いたいと思いました。
- ・一貫して手指衛生や感染対策は同じポイントをおさえれば各施設で決めたもいいことを改めて確認できて良かったです。無理なくベストな方法を探したいと思います。

- ・在宅ではなかなか難しい部分もあると感じていたが、そこにあるものでベストをつくせるよう対策をとっていきたいと改めて感じた。
- ・理解は出来ていると思っているが、再度忘れていた部分、注意点の確認が出来た。
- ・医療廃棄物 事前質問になっていたのであれば返答の準備をしてこの会で言ってもらえれば共有し後に残るものとなったと思う。
- ・在宅の場では全てを病院・施設のようににはできないとは思いますが、説明や環境提案には役立つと思うし、根拠の分かったケアをする事が有意義だと思った。
- ・ありがとうございました。スタッフと一緒に今回学んだ事を共有します。

介護士

- ・事業所で見直ししなければならない問題点がいくつかあったので、伝達したいと思う。
- ・専門的な知識をわかりやすく説明して頂き、大変参考になりました。今まで行ってきた感染症対策を再確認できてよかったです。
- ・前と後の手指消毒 大切である事 勉強になりました。
- ・介護施設での感染対策をどこまでやられているのか確認出来た。
- ・感染ルートを断つ取り組みについて、具体的に取り組みたいと思いました。改めて正しい知識が習得できました。ありがとうございました。
- ・現在、社内で感染委員会が動き、対策を提案していますが、職員一人一人に簡単な文章で説得力のある資料を提供できると思いました。

ケアマネジャー

- ・改めて感染対策について考えるきっかけになりました。
- ・わかっていることでも施設内で周知させるのがなかなか難しい。どのように伝えていけばよいのか学べた。
- ・内容は概ね、当事業所で行っていることが多かった。具体的な事例がもっと知りたかった。
- ・手洗いがとても重要である事がよくわかりました。これからはこまめに実施していきたいと思います。
- ・自施設で不足している部分があると思うので、マニュアル等、もう一度見直して対応していきたい思います。

その他

- ・普段は理解して仕事をしているつもりでも、改めて根拠を再認識することができました。

6. 今後希望する研修会や講演会、要望など

- ・皮膚疾患、褥瘡
- ・精神疾患の方への対応、接し方
- ・高齢者施設で入居される方に多い疾患の講習会(例 インスリン投与、人工肛門、経管栄養、褥瘡、水虫など)
- ・終末期でのケアやコミュニケーション
- ・後日回答の返信をメールでお願いしたいです。
- ・実際に、嘔吐が起きたときの対応を実演でやってもらえる機会があるとよりわかりやすいと思います。実技の勉強会 やっていただきたいです。